

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成24年11月22日 (2012.11.22)

【公表番号】特表2012-507475(P2012-507475A)

【公表日】平成24年3月29日 (2012.3.29)

【年通号数】公開・登録公報2012-013

【出願番号】特願2011-533567(P2011-533567)

【国際特許分類】

C 0 7 F 9/30 (2006.01)

C 0 7 F 9/32 (2006.01)

C 0 8 K 5/5313 (2006.01)

C 0 8 L 101/00 (2006.01)

C 0 7 B 61/00 (2006.01)

【 F I 】

C 0 7 F 9/30

C 0 7 F 9/32

C 0 8 K 5/5313

C 0 8 L 101/00

C 0 7 B 61/00 3 0 0

【誤訳訂正書】

【提出日】平成24年10月1日 (2012.10.1)

【誤訳訂正 1】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 0 8 4

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【 0 0 8 4 】

M - OHおよびM' - OHとして、エチレンオキシドと、ポリ - 1, 2 - プロピレングリコールまたは脂肪アルコールプロピレングリコールとの反応生成物；同じく1, 2 - プロピレンオキシドと、ポリエチレングリコールまたは脂肪アルコールエトキシラートとの反応生成物も好ましい。100 ~ 1000 g / mol、特に好ましくは150 ~ 450 g / molの平均グラム分子量を有するそのような反応生成物が好ましい。

【誤訳訂正 2】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 1 3 7

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【 0 1 3 7 】

好ましくは、金属Mg、Ca、Al、Zn、Ti、Sn、Zr、CeまたはFeのモノヒドロキシ官能化ジアルキルホスフィン酸塩（III）は、任意選択で0.01 ~ 10重量%、好ましくは0.1 ~ 1重量%の残留水分含量、0.1 ~ 2000 μm、好ましくは10 ~ 500 μmの平均粒度、80 ~ 800 g / l、好ましくは200 ~ 700 g / lの嵩密度、0.5 ~ 10、好ましくは1 ~ 5のフレングル（P f r e n g l e）流動性を有する。

【誤訳訂正 3】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 1 7 8

【訂正方法】変更

## 【訂正の内容】

## 【0178】

## 例 8

166 g (1 mol) のエチル - (2 - メチル - 3 - ヒドロキシプロピル) - ホスフィン酸 (例 5 と同様に製造) および 85 g のテトラブトキシチタンを 500 ml のトルエンに 40 時間還流下で加熱する。そのときに生成しているブタノールを部分量のトルエンで時々留去する。続いて生じた溶液から溶媒を除去する。161 g (理論値の 91%) のエチル - (3 - ヒドロキシプロピル) - ホスフィン酸チタン塩が得られる。